

経済建設委員会会議録

平成24年12月20日

11時27分

開会

11時36分

閉会

網走市議会

午前11時27分 開会

○佐々木委員長

経済建設委員会を開会いたします。

本日の委員会ですが、先ほど付託されました議案1件について審査いたします。

議案第10号平成24年度網走市一般会計補正予算について、そしてそれに係ります繰越明許費についても合わせて説明をいただいた上で審査をしたいと思いますので、説明をお願いいたします。

○酒井港湾課長

それでは議案資料2ページをごらんください。

平成24年度網走市一般会計港湾建設費補正予算海岸施設整備事業の歳入歳出予算の補正と繰越明許費の設定について御説明申し上げます。

補正の理由及び内容であります、国の予備費を使った経済対策に伴いまして、海岸施設整備事業が対象となったため、工事請負費として2億円の追加補正をするものでございます。

隣の3ページの地図のほうをごらんください。

工事の内容は護岸の整備で、今年度整備した箇所から引き続き帽子岩側のほうに向かいまして、約240メートルの整備を予定しております。

この図の斜線の長方形で記した場所が施工予定の場所でございます。この箇所はもともと平成25年度当初において実施を予定していた箇所でございます。

なお、この事業は年度内の完了が見込めないことから事業費の全額を翌年度に繰り越すものでございます。

補正の額であります、歳出予算では補正前の額2億1,397万7,000円に2億円を加えまして、4億1,379万7,000円となります。

財源内訳は国庫補助金が1億1,000万円、市債が9,000万円追加となります。歳入予算では国庫補助金が補正前の額1億1,210万円に今回の補正額1億1,000万円を加えまして、2億2,210万円となります。

また、市債が補正前の額8,250万円に今回の補正額9,000万円を加えまして、1億7,250万円となるものでございます。

繰越明許費の内訳でございますけれども、先ほど申し上げたとおり、2億円を繰り越すこととしたしまして、財源の内訳は国庫補助金1億1,000万円、市債9,000万円でございます。

以上です。

○佐々木委員長

何か質疑ございますか。

○平賀委員

基本的にはいいことだと思うのですが、確認だけさせてください。

まだこの工事が残る部分はだいぶあるのですか。

○酒井港湾課長

この図のほうをごらんいただきたいと思うのですが、今回平成24年度補正分で斜線で囲った部分、さらに帽子岩側のほうがまだ残っていて、こちらのほうで残り約230メートルぐらい護岸が残ると。それと護岸の背後にかかる遊歩道、通路にかかる部分ですね、水叩きというふうに申し上げてますけれども、こちらのほうがまだ約1,000メートル程度残っていますので、これを引き続きということになります。

○平賀委員

平成25年度でやろうと思っていたものを先にこれでやれるということなので、25年度にその部分を全部かどうかは別として、やっていくという考え方は持っているということですね。

○酒井港湾課長

委員おっしゃるとおりで、今回240メートルが出来ることになりましたので、平成25年度にさらにモヨロ側のほうを。予算の確保次第ですが、その後には今度は水叩きをということで考えています。

○佐々木委員長

そのほかございませんか。よろしいでしょうか。
(「なし」の声あり)

○佐々木委員長

それでは議案第10号平成24年度網走市一般会計補正予算について、全会一致をもって原案可決すべきものと決定してよろしいでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○佐々木委員長

それでは理事者側から何か案件お持ちでしょうか。

（「なし」の声あり）

○佐々木委員長

委員側からございますか。

○栗田副委員長

お伺いしたいことがあるのですが、所管の観光部がいらっしゃらないので、副市長のほうでわかる範囲で結構なのですが、大曲湖畔園地で、秋の頃からか大規模な重機が入って土量の移動があったと思うのですが、どのような工事をどのようにやったのかということの説明を求めたいと思います。

○大澤副市長

詳しくは聞いていないのですが、港湾の堆積している土砂が何箇所か港湾にはあります。

あの土砂をいろいろな形で使わなければならぬと思っていまして、確か大曲湖畔園地は地盤高が低いということがありますので、港湾の事業の中で、何立米かは憶えていないのですが、それを湖畔園地のほうに運んでいるということだと思います。

○栗田副委員長

港湾でも残土があったのだなという所ですけども、先ほど来いろいろな質問も、今後の話も当然出てくると思うのですが、大曲湖畔園地の明確な使い道、用途というのがまだ明確になっていない段階で、特にあそこは我々の会派のほうで申し入れたように農地の部分があるということになると工事というのは、非常に繊細なものになってくるのではないかと私は考えるのです。単なる一般的に言う表土をはいで下に残土を入れるという客土的な工事だったと思うのですが、私は天都山のほうから見たのですけれども、大規模な工事だったものですから、明確に目的がしっかり決まっていない段階でそういう方向でやるのはいかがなものかなと思ってお聞きした次第です。

○大澤副市長

大曲湖畔園地がこういった土地利用になるかということは別問題といたしまして、いずれにしても地盤が低いということは明らかなわけですから、今委員おっしゃったとおり表土をはがしてですね、客土をいれて戻しているということです。土地利用についてはいろいろ議論されますし、それから私どものほうとしては方針を立てていますので、いずれにしてもこういった形になろうが客土がまだ足りないという状況ですので、それは予算の関係ありますけれども、いろいろな港湾の事業だとかも絡めながらですね、土をいれていくということはやっていきたいと思います。

○栗田副委員長

一定の理解をしましたので、ただ慎重に工事を進めていくべきだということを心得ていただかないと、何がなんでも簡単な考え方でやっていただくというのは今後のことができますので、やはり慎重に考えながらやっていただきたいと思います。以上です。

○佐々木委員長

よろしいですか。それではそのほかございますか。

（「なし」の声あり）

○佐々木委員長

それでは以上で経済建設委員会を終了いたします。

午前11時36分 閉会